

ワクチン接種後の「ブレイクスルー感染」に注意

【ブレイクスルー感染】

- ・ワクチン2回接種後も、期間経過による抗体価低下などにより、感染の可能性は残ります。
(特に高年齢層が、感染率が高い傾向)
- ・感染しても、症状が軽くなる傾向があります。

自覚症状	ワクチン未接種 (n=9,578)		ワクチン2回接種 (n=868)		差
	回答者数	割合	回答者数	割合	
発熱	7,590	79.2%	461	53.1%	-26.1%
倦怠感	6,622	69.1%	417	48.0%	-21.1%
関節痛	4,087	42.7%	164	18.9%	-23.8%
鼻汁	2,860	29.9%	410	47.2%	17.4%
該当なし	671	7.0%	128	14.7%	7.7%

「新型コロナウイルス療養者の行動等に関するWebアンケート調査結果」から抜粋

【対策のポイント】

- 感染予防、重症化予防のために、積極的にワクチン接種を
- ワクチン接種後も感染リスクがあることをあらためて認識すること
- 日々の感染対策（マスク、手指衛生、換気、三密回避など）を引き続き徹底
- 何か症状や異変を感じたら、かかりつけ医や発熱相談センターへ連絡・相談を
- 万が一感染した場合は、中和抗体薬の投与など早期の治療が効果的